

令和3年3月2日

令和3年第1回神奈川県議会定例会

厚生常任委員会報告資料

福祉子どもみらい局・健康医療局

目 次

ページ

- 1 みんなの感謝お届け事業（県産品贈呈）について..... 1

1 みんなの感謝お届け事業（県産品贈呈）について

かながわコロナ医療・福祉等応援基金を活用した「みんなの感謝お届け事業（県産品贈呈）」について、進捗状況等を報告する。

(1) 事業の概要

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて困難を抱えている医療・福祉従事者に、県民の皆様からの「感謝」の気持ちを伝えるため、県内の医療機関・福祉施設にメッセージを添えた県産品を贈呈する。

(2) 事業の進捗状況

かながわブランドやかながわの名産100選などから選べる県産品カタログを作成し、医療機関・福祉施設約3万6千施設に送付した。3月上旬までに、医療機関・福祉施設から申込のあった県産品の贈呈を概ね完了する予定。

(3) 書家の金澤翔子氏揮毫による懸垂幕の掲示等

県民の皆様から医療・福祉従事者への感謝の気持ちを伝えるため、12月18日から、横浜高島屋の店舗壁面に、書家の金澤翔子氏揮毫による懸垂幕を掲示（3月中旬まで予定）し、店内では、揮毫の様子動画放映、ポスター掲示、店内アナウンスを実施した。

また、神奈川新聞への広告を実施した。

(4) 次回の基金活用事業について

ア 基金の積立状況

基金の積立状況は以下のとおりである。

引き続き、様々な広報媒体の活用などにより基金を効果的に周知し、医療・福祉従事者への感謝・応援の気持ちの機運醸成に努める。

・現在の基金積立状況（2月24日現在）

基金合計	1,458,860,711円
	〔職員・議員手当等削減額 687,727,000円〕
	〔県民等からの寄附 771,133,711円〕

第1弾合計 1,019,490,000円

次回活用可能額 439,370,711円

イ 次回の基金活用事業の検討

今後の基金の積立状況及び新型コロナウイルス感染症への対応状況を踏まえ、医療・福祉関係団体等の希望や、県民の皆様、議会の御意見をもとに、次回の基金活用事業の内容や時期について、庁内で検討していく。